

原発再稼働をやめ、エネルギー基本計画の見直しで、 再生可能エネルギーの比率を大幅に増加させることを求めます

団体名

代表者氏名

印

所在地

..... 請 願 趣 旨

現在、経済産業省において、国のエネルギー政策の指針となる「エネルギー基本計画」の見直しの議論が進められています。しかし、2014年の現行計画を概ね踏襲し、2030年度に必要な電力の20～22%を原発で賄う目標を維持する方針を示しており、原発ゼロを要求する国民全体の思いと逆行しています。

2014年に現計画をまとめた際は、意見公募（パブリックコメント）で寄せられた約2万件の大半は「脱原発」を求める意見でしたが、計画には全く反映されませんでした。しかも、ベースロード電源構成比の20～22%を原子力発電に依存することは、現在の原発を全て稼働させることが前提とされるものであり、到底認められるものではありません。

福島第一原発事故から6年半が経過しましたが、いまだ事故は収束せず、様々な形で苦しみと被害が続いています。「もう二度と原発事故はごめんだ」これが国民共通の強い思いです。

福島第一原発事故以降、世界では脱原発に舵をきる国が相次ぎ、日本においても節電や省エネルギーの取り組みが広がっています。また、太陽光発電などの普及により、再生可能エネルギーの割合は増えています。原発事故後、2年近く原発の稼働がゼロの期間がありましたが、電力供給に問題は生じませんでした。今こそ原発に頼らないエネルギー政策への転換が求められています。

以上のことから、以下の事項を請願し、その実現を求めます。

..... 請 願 事 項

1. エネルギー基本計画の見直しにあたって、再生可能エネルギーの比率を大幅に増加させること。
2. 原発再稼働を止め、原発ゼロを目指すこと。

原発をなくす全国連絡会 〒113-8465 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター7F 全日本民医連気付 TEL. 03-5842-6451	
---	--